

# まちづくりの成果、着々!

## カラスが8割も激減!

動物対策チームの成果

カラスが桜井地域に約240羽も集結し、環境被害が起こっていたことはご存知のとおりです。

市では5月に動物対策チームを立ち上げ、野鳥(カラス)やペット(猫等)による被害重点地区(桜井地域)の生活環境を改善する対策をスタート。調査の結果、桜井地域に集まるカラスの大半は、なんと豊中市からの飛来であるという事実が判明したのです。

さっそく、これまでの「捕獲」から「飛来防止」へと対策を変更。取り組みからわずか4か月で、カラスが実に8割以上も激減!という大きな成果が表れました。



箕面市では、箕面山に生息するニホンザル保護管理のため、4月から、無秩序なエサやりを禁止します。ご協力ください。

## 緑のじゅうたん広がる

小学校、幼稚園の全面芝生化

子どもたちが安心して元気に駆けまわられる「緑のじゅうたん」の実現をめざし、箕面市では今年度からグラウンド「全面」の芝生化がスタートしました。

これまで、校庭の部分的な芝生化は進められてきましたが、倉田哲郎市長は教育委員会と協力して、低コストで芝生化する「箕面版ポット苗方式」を編み出して導入。ご寄付と大阪府補助金により、市の負担ゼロで実現できました。

倉田哲郎市長も、子どもたちや地域の方々、保護者のみなさんといっしょに校庭の芝生化作業に参加。秋には各校で運動会も行われ、緑のじゅうたんの上で、子どもたちが笑顔で元気に駆けまわる姿が見られました。

## ゆずキャラはマユが個性的

「たきのみち ゆずる」誕生!

箕面の柚子をPRするキャラクター「たきのみち ゆずる」の誕生です!

古くから「箕面の柚子」を栽培・収穫している止々呂美地区が、実は大阪府で唯一の柚子の出荷生産地であることに着目。これを活用して箕面を全国に発信しようと、昨年3月、「ゆずともみじの里・みのおプロジェクト会議」が発足しました。

キャラクター募集には全国から600点を超える反響があり、選考委員会で決着がつかず、7月、箕面まつりで決選投票。愛称も、約450点の応募の中から、市内在住の方によって命名されました。

10月末には着ぐるみも完成して、イベントでは倉田哲郎市長とともに「たきのみち ゆずる」も引っ張りだこ。全国に「箕面」の魅力を発信しています。



## 市民の皆さんから寄せられた



voice voice voice voice voice voice

これまでなかなか解決できなかった課題を、新しいアイデアで、しかも経費をかけずに実現していく自治体のお手本として、箕面市が先頭を走ることは大変意義あることだと思えます(市のホームページに「Edubuntu日記」として、開発の様子が同時進行で紹介されています)。読者の皆さんも、「35歳の日記」と「Twitter」をぜひご覧になって下さい。(西小路 Y.K)

## 市長が替わって箕面は変わった

去年退職し、今は無職です。現役の時分は会社人間で、政治には興味ありませんでしたが、最近に関心を持ち始めました。とくに倉田市長さんには親近感があります。

ホームページで「35歳の日記」を読んで感心しました。いろいろな施策に対し、どんな思いで取り組んでいるのか、よくわかるのです。そして堅い話ばかりでなく、ときどきはスイーツの店の紹介もあって、私も暇にまかせて足を運んだり…。

息子の友人の1人でもある市職員は「年度途中であっても必要な部署への人事異動を行うなど、はじめは驚いたが、そうした前例にとらわれない方針のせいもあって、市役所が活力ある職場に変わったのは確かだ」と話してくれました。これからも倉田市長の手腕に期待しています。(桜 K.O)

## 応援しています

倉田哲郎市長が誕生して早1年を超えました。この短い期間に倉田市長は驚くほどの業績を築かれています。本当に素晴らしい市長が誕生したものだと感じています。

ご近所の方に薦められ、インターネットで「35歳の日記」というブログを読み始めました。箕面市が今どんなことをしているのか、よくわかると同時に、市長さんの考え方や感性が伝わってきます。読むのが楽しみです。大変だと思いますが、ぜひ毎日書いて欲しいと思います。ネット上でちょっとしたつづやきを書き込めるという「Twitter」(ツイッター)も見えています。こっちの方が面白いかもしれません。

コンピューターは詳しくありませんが、リナックスという無料ソフトを使い、古いパソコンを生き返らせて、学校で使おうとチャレンジされているようですね。どんどん先端技術を取り入れながら進めていく様子が目の当たりにできます。

倉田哲郎さんのブログ 35歳の日記  
<http://blog.kurata.tv/>

検索 ツイッター(つづやき)へも、ココから!

携帯電話でも見られます <http://mobile.kurata.tv/>



## 箕面市長 倉田哲郎 まちづくりニュース

# “市民のチカラ!”

2010年1月発行

## 着実に実行! 12のお約束(マニフェスト)

倉田市政が誕生して2度目の新年を迎えました。

毎月、次々と新しい政策決定や取り組みを実施している倉田市政、今年も目が離せません!

「市民のチカラ」本号は、

倉田哲郎さんのメッセージと合わせて、倉田市政1年半の活動録をご紹介します。

箕面の明日をつくる会

Fax 727-4326

箕面市小野原西1丁目10番34号

一昨年に市長に就任させていただいて以来、あっという間の1年半でした。できる限り「スピード感」を大切にしながら仕事をしてきたつもりですが、市民の皆さまをはじめ、多方面の方々のご協力なしには成しえなかったことばかりで、ここまでこれたことにひたすら感謝申し上げる次第です。

子どもの医療費助成、保育所定員の拡大、小・中学校施設のグレードアップ、高齢者表彰制度、地域ぐるみでの防犯体制の強化、山なみ景観の保全、北大阪急行の延伸に向けた交渉の加速など、選挙でお約束した「12の約束」(マニフェスト)も、一歩ずつ前に進められていると感じています。

また、箕面のことをもっと自慢したい! 箕面が箕面を誇らなくてどうする! という強い気持ちから、「箕面営業課」の設置、箕面市オフィシャルブログや部長ブログによる情報発信、「箕面の柚子」のPR、箕面市オリジナルのナンバープレートなど、手をかえ品をかえ箕面の素晴らしさを全国に伝える努力を続けています。

政権交代により、国・府も大きな変化に見舞われているなかにあっても、強く揺るぎない箕面市政であり続けるべく、今年も全力投球です。「子育てしやすさ日本一」「緑・住みやすさ最先端」「安心・支えあい最優先」を目標に、元気な箕面のまちづくりを進めていきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

倉田哲郎



倉田哲郎市長、実は  
寅年生まれの年男



# 市長の足跡《1年半の活動録》

倉田哲郎市長はこの1年半、数々の施策を次々と打ち出し、実行してきました。その足跡とともに、特徴的な実績を紹介します。

## 6年ぶりに黒字化を達成 ～就任後初めての当初予算編成～

平成21年度当初予算編成は、倉田哲郎市長が想いを注ぐ初めての当初予算であり、また前市長の4年間で失われた財政バランスの回復という意味からも、とても大切な作業でした。

まず平成20年末に、奥山勉副市長をリーダーとする「改革特命チーム・ゼロ」が「緊急プラン(素案)・ゼロ試案」を公表。さらにパブリックコメント(意見募集)で寄せられた500件を超えるご意見…これらを基にしながら、悩みに悩みぬいて大幅にスケジュールが遅れるほど、力のこもった作業となりました。



その結果、経常的な収支バランスは6年ぶりに黒字化。貯金の取り崩しを前年度の約3分の1、さらに借金も前年度の約2分の1に抑制するなど、「財政(収支)バランスの復元」という大きな目標を達成しました。

そればかりでなく、子どもの医療費助成の拡大をはじめ、将来へ向けた投資もしっかりと行う「メリハリのついた予算」に仕上がっています。平成21年度当初予算は、「子どもたちの世代にツケをまわさない、収支バランスのとれた予算」になりました。

## 健康・生きがい、支えたい ～元気はつらつ高齢者～

市民の5人に1人が高齢者という超高齢社会でも、そうした方々が健康づくりに取り組み、いつまでも元気に暮らしていけるまちづくりこそ、倉田哲郎市長がめざす箕面の姿です。

高齢者表彰制度のスタートに加え、さらに地域の老人クラブが自主的に取り組む健康づくりや生きがいづくり活動に対し、自由にメニューを設定できる事業の創設や、独居高齢者のアンケート調査など、取り組みが充実してきました。

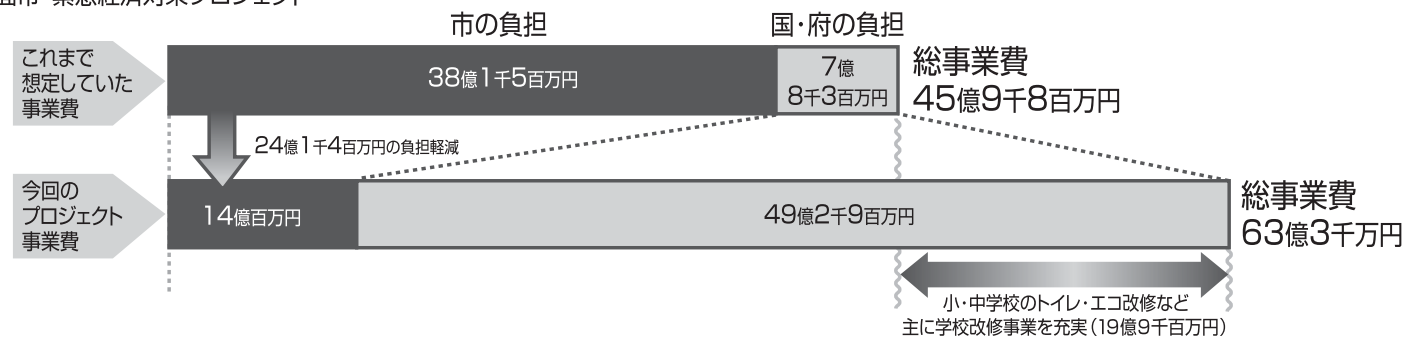
ほかにも高齢者の暮らしを支えるさまざまなプランが打ち出される予定とか。いつまでも元気な高齢者のまちづくりをめざし、力が入っています。

## 進む学校の耐震化・トイレ美化 ～国の対策を活用して費用と期間を圧縮～

災害時避難所でもある全市立小中学校の耐震化スケジュールを5年間も前倒して、平成22年度末までに完了。同時にトイレの美装化・洋式化(一部)なども進めます。また市立幼稚園の耐震診断も実施し、平成22年度末までに園舎の耐震化を行うとのこと。

これらの事業は国の経済危機対策を最大限に活用。市の負担を24億円以上も軽減しながら、下図で示すように、事業を幅広く実施する倉田市長ならではの、一挙両得のダイナミックな取り組みです。

箕面市・緊急経済対策プロジェクト



## “ダム負担金の返還”を直訴!! ～国交大臣に意見書～

昨年10月6日、全国紙をこんな記事がにぎわしました。『箕面市の倉田哲郎市長が前原国交大臣に会い、余野川ダム負担金11億円の返還や、放置されたダム事業用地の適切な管理について、政治主導での決着を求め、意見書を提出した』というものです。



これまでの国と市の関係では考えられない思い切った行動で、大阪府の橋下知事をして、「(府の負担もあるのに)なぜ府の職員から「負担金の返還」を言い出せなかったのか(箕面市に先を越された)」と悔しがらせた。

「国を相手のケンカも辞さない。ケンカしても崩れない信頼関係を築くことが大切」という倉田哲郎市長の主張が、具体的な行動に表れた象徴的なできごとです。

- 平成20年度
  - 8月・第15代箕面市長に就任(8/27)
  - ・国交大臣と面談 北大阪急行延伸の協力要請
  - 9月・新御堂突き当りの開発に異議を唱え、議会とともに行動を起こす併せて、新稲の墓地開発についても対応を開始
  - 10月・新稲の墓地開発中止(開発者が申請を取り下げ)
  - 11月・子どもの見守りのため“外院の里わんわんパトロール隊”協定を締結
  - 12月・子どもの医療費助成拡大を議会で可決(H21.4実施)
  - ・市長(13%)・副市長(7%)・職員(4~4.5%)給料カットの条例”を議会可決
  - ・箕面森町において 保育所・幼稚園一体型施設の設置の方針決定(H23.4開設予定)
  - ・民間企業の経験者を対象に職員募集(4/1採用)
  - ・財政構造改革の「緊急プラン(素案)・ゼロ試案」を公表
  - ・全国最年少市長としてNHK「日曜討論」に出演
- 1月・西小学校で大阪府の塾講師派遣“第1号”実施
- ・商工会議所や農協、NPOと連携した“ゆずともみじの里・みのおプロジェクト”公表
- 2月・平成21年度予算案を発表(6年ぶりに経常収支を黒字転換)
- …貯金の取り崩しを前年度の1/3に抑制
- …借金は前年度の1/2に抑制
- …全中学校のすべての普通教室にエアコンを導入
- …生徒指導の先生(箕面市の独自配置)を全中学校へ配置
- …小学校へ追加配置
- …市内バス路線網の再整備&社会実験(H22)をめざした法定協議会スタート
- …阪急牧落駅へのエレベータ設置(箕面線駅のバリアフリー化を完了)
- …グリーンホール(市民会館)の耐震補強&エレベータ設置
- 3月・豊能町と共同開催で「第1回 箕面森町妙見山麓マラソン大会」開催
- ・箕面市役所のオフィシャルブログ「撮れたて箕面ブログ」をスタート
- ・文化振興事業団設立20周年の記念事業で 市民参加型の舞台、「箕面山大瀧萌ゆる」に挑戦(村長役で出演)
- ・「箕面市版バスマップ」の全戸配布と ホームページでの検索システムの構築
- ・造園緑化推進組合と防災協定を締結
- 平成21年度
  - 4月・“みどりまちづくり部”や“箕面営業課”の設置など市役所の組織再編
  - ・“ふるさと納税制度”開始
  - ・タクシーやバス事業者と“行方不明者SOSネット”を発足
  - ・ささゆり応援手当(DV被害者生活支援給付金)支給の方針を発表
  - 5月・“動物対策チーム”発足
  - ・箕面グリーンロード(トンネル)の値下げに向けた社会実験を実現
  - ・新御堂突き当りの開発中止(開発者が申請を取り下げ)
  - ・災害時の廃棄物処理のため清掃協議会、環境整備協力会と防災協定を締結
  - ・災害時の下水道施設の機能確保のため 環境事業協議会と防災協定を締結
  - 6月・小学校・幼稚園のグラウンド“全面”芝生化に挑戦(箕面版ポット苗方式)
  - ・市長自らが大学へ出向き、就職説明会を開催
  - 7月・「箕面市納付コールセンター」を民間委託により設置
  - ・「元気はつらつ頑張る高齢者表彰」を実施
  - ・大阪府「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」のモデル地区に“箕面大瀧～箕面駅前”が選定
  - ・遊休農地の解消対策のため「宮農指導チーム」(遊休農地解消対策委員会)を設置
  - 8月・「箕面市・緊急経済対策プロジェクト」を発表
  - 9月・中学校で「デリバリーランチ」を開始
  - ・サル餌やり禁止条例などを議会で可決
  - 10月・国交大臣と面談。余野川ダム負担金の返還について意見書を提出
  - ・小中学校で、超低コスト中古パソコン再利用の電算システム構築に挑戦
  - ・保育所の待機児童数をゼロにする「箕面市待機児童ゼロプラン」を発表
  - ・「まちの美化を推進する条例(素案)」を公表
  - ・「ふれあい安心名簿条例(素案)」を公表
  - ・「箕面の柚子」のキャラクターを公募 愛称「たきのみち ゆずる」決定
  - 11月・山なみ景観を守る新たな制度「山すそ景観保全地区(素案)」を公表